真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度

# 事務事業評価マネージメントシート

作成日　令和8年3月12日

| | | | |
|---|---|---|---|
| 事務事業名 | 市道維持補修事業 | 担当課・係 | 建設部　建設課　維持係 |
| 政策名　No | 4　「都市づくり」～暮らしやすさアップ！～ | 関連するSDGs･DX |  |
| 施策名　No | 3　道路ネットワークの整備 | | |

| 成果指標 名称 | 単位 | 初年度からの実績値の比較 R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | 目標値 R11 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 橋梁修繕率（橋長2m以上） | % | 36.4 | | | | | 100 |
| 自転車通行空間整備率 | % | 32.1 | | | | | 46.2 |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

**事業内容**

①【橋梁】道路法施行規則に基づき、2m以上の橋梁を対象に5年に1回の頻度で、近接目視による点検が義務付けられている。そのため点検は平成26年度から1巡目を実施しており、令和5年度には2巡目が完了した。橋梁長寿命化修繕計画を平成24年度に策定し、令和3年度に計画の改定を行った。
- 市が管理の橋梁数　503橋
- 修繕が必要な橋梁数　22橋

【舗装】道路法に基づき、道路管理者として道路を常時良好な状態に保つよう維持・修繕し、一般交通に支障を及ぼさないように努めている。平成27年度に舗装長寿命化修繕計画を策定し、順次修繕を行っている。

②「真岡市自転車ネットワーク計画（平成30年3月策定）」に基づき、官公庁、学校、病院、商業施設等の生活拠点施設や観光・文化施設等をつなぐ自転車ネットワーク路線を対象に、安全で快適な自転車通行空間の確保を目的として、自転車利用環境の整備を実施している。
- 市道の整備計画延長　62.0㎞

**前年度の課題（Check）**

・舗装修繕する路線は年々増加傾向で、重要路線である１、２級路線でも修繕が実施されていない路線があり、走行性を確保する必要がある

**7年度振り返り**

【１】実績（Do）７年度に実施した事業

【橋梁修繕】
・中峯大橋、泉橋の修繕及び53橋の点検を実施

【舗装修繕】
・市道242号線他15路線の修繕（延長 3340.2m）及び5,650mの区画線引き直しを実施

【自転車通行空間整備】
・市道242号線、市道113号線の整備を実施（延長 2,390m）

【２】結果と課題（Check）

【橋梁修繕】
・点検結果に基づき、計画的な工事発注をしているが、老朽化により修繕が必要な橋梁が増加の傾向にある。

【舗装修繕】
・舗装長寿命化計画及び区からの要望により順次修繕工事を行っているが、老朽化により修繕が必要な路線が増加の傾向にある。

【自転車通行空間整備】
・舗装修繕計画との整合が必要である。

**今後の方向性と具体策**

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　□ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　■ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【３】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

（1）ただちに取り組むべきこと

【橋梁修繕】
・点検後の速やかな工事実施

【舗装修繕】
・利用状況や通行量に合わせた効率的な修繕工事の実施

【自転車通行空間整備】
・舗装修繕実施に合わせた整備箇所の選定及び自転車通行空間の利用促進の周知

（2）長期的な計画で検討すること

【橋梁修繕】
・効率的な修繕のための定期的な長寿命化計画の見直し

【舗装修繕】
・効率的な修繕工事を実施するための舗装長寿命化計画の見直し

【自転車通行空間整備】
・舗装長寿命化計画の見直しに合わせた計画的な整備